

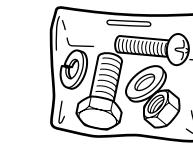
コントロールユニットの取り付け

取り付け場所

- こんな取り付け場所はお避けください。
- 運転席の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出しづらの妨げになる所
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- はずしたビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- はずすビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



センターコンソールやインダッシュへの取り付け

トヨタ車、日産車、三菱車、欧州車、マツダ車、フォード車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとにコントロールユニットを取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。

- お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。
- キズや破損を防止するため、ディスプレイ部は取り外した状態で作業してください。

コントロールユニットをセンターコンソールなどに取り付けるときのご注意

トヨタ、スバル、ホンダ車一部の車種において、ディスプレイ部を脱着する際に、左右両側と下側がクラスター部に干渉する場合があります。2DINサイズの場合は、取り付け場所を変更するか、またはクラスター部の加工をしてください。干渉する部分を0.5~1mm程度削ることで干渉を防ぐことができます。

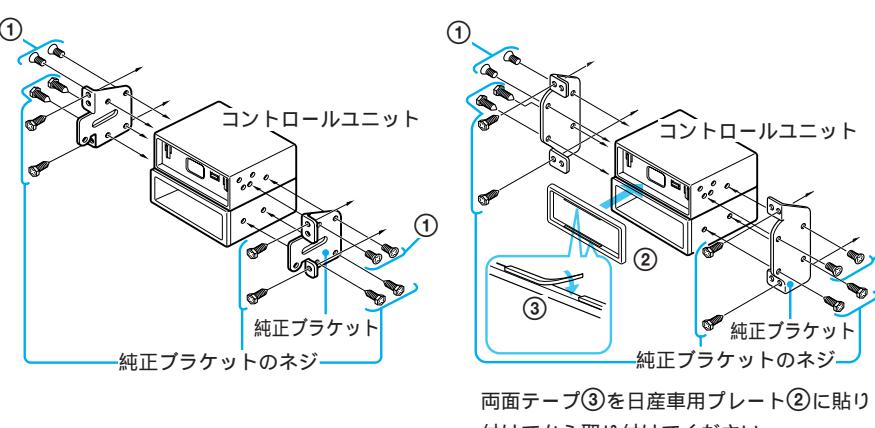
トヨタ車、日産車、三菱車に取り付ける場合

1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正プラケットを利用して、コントロールユニットを取り付けます。

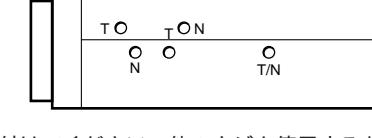
2 コントロールユニットを取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。



ご注意

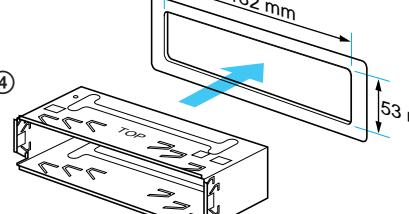
- コントロールユニットのフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- コントロールユニットの上部に物をはさみ込まないでください。
- 純正プラケットをコントロールユニットに取り付けるとき、T(トヨタ車/三菱車用) N(日産車用)マークにプラケットの取り付けネジを合わせて、ネジ①で取り付けてください。



*必ず付属の皿ネジ①で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

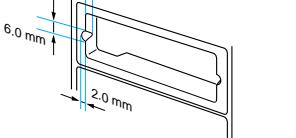
欧州車、マツダ車、フォード車に取付ける場合

1 TOPと刻印された面を上にして、取り付けフレーム④をダッシュボードに取り付ける。

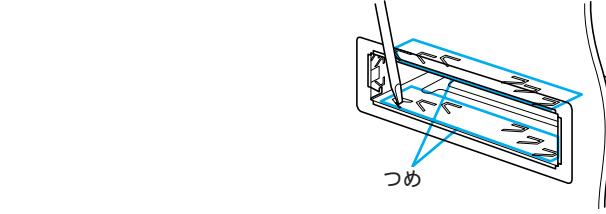


ご注意

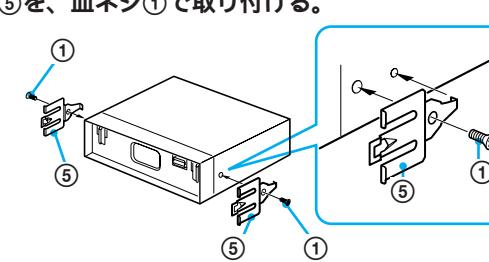
取り付け機種、年式により、取り付けバネの三角山部(凸部)が車両側と干渉し、取り付けフレームと引っかからないときは、車両側を丸ヤスリなどで加工してください。加工した部分は飾りフレームで見えなくなります。



2 取り付けフレーム④のつめを曲げる。

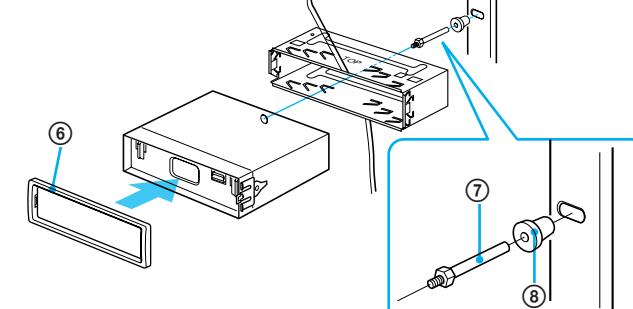


3 取り付けバネ⑤を、皿ネジ①で取り付ける。



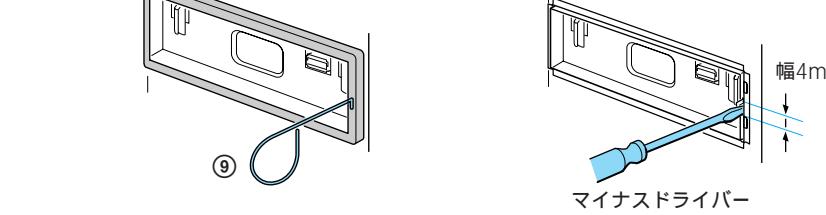
4 コントロールユニットを取り付ける。

各コードを接続後、支持ネジ⑦、ブッシング⑧、最後に飾りフレーム⑨を取り付けます。



取り外しかた

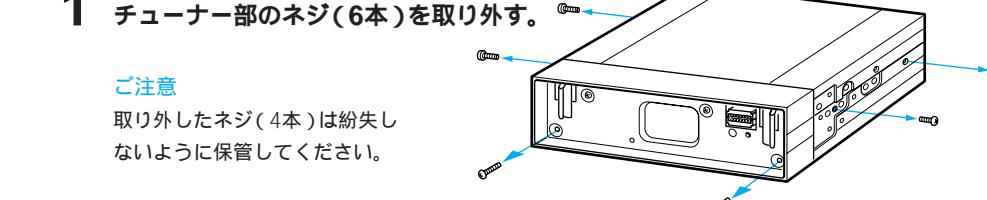
飾りフレームは取り外し治具⑩を使用して取り外し、コントロールユニットは取り付けバネの左側ロック部をマイナスドライバー(幅4mm以下)を使用して取り外してください。



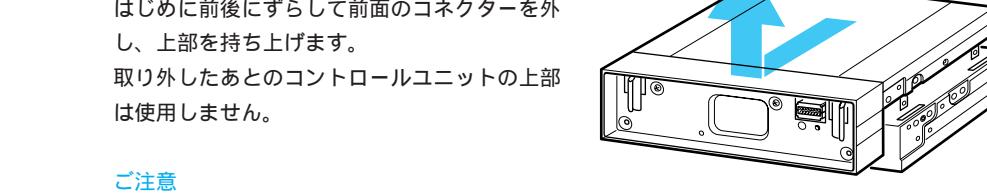
ディスプレイ部をダッシュボードに取り付ける

コントロールユニットのチューナー部を分離し、ディスプレイ部をダッシュボードに取り付けることができます。

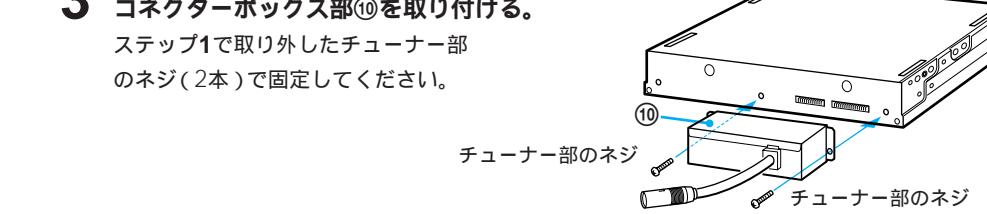
チューナー部を分割するには



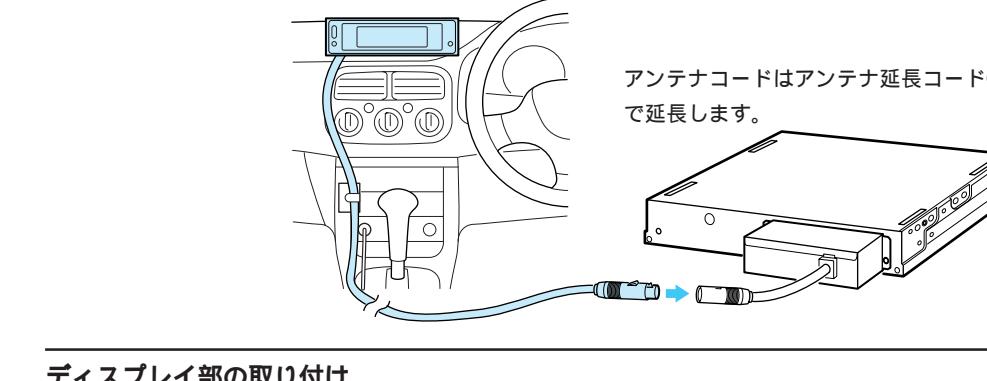
2 チューナー部を分離する。



3 コネクターボックス⑩を取り付ける。



4 ディスプレイ部とつなぐ。



チューナー部のネジ
チューナー部のネジ

アンテナコードはアンテナ延長コード⑫で延長します。

ディスプレイ部の取り付け

取り付ける前に

正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。

ご注意

- 不安定な取り付けは絶対に避けください。走行中にはずれることがあり、大変危険です。
- 電波の弱い地域では、設置場所や、取り付け方法によってノイズが発生する場合があります。以下の事柄に注意して取り付けをしてください。
- 本機の接続や電源などの各ケーブルとアンテナはできるだけ離して設置してください。
- 平行にしたり、束ねて配線すると、ノイズが発生することがあります。
- ディスプレイ部は、アンテナからできるだけ離して設置してください。
- 特にフロントガラスアンテナを採用している車種では、アンテナから近くなるため、ノイズが発生することがあります。その場合は、ガラスアンテナの代りに別売りのロッドアンテナ(VCA-14など)を使用してノイズを防ぎます。この場合も、設置場所や配線に注意してください。

1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑪を曲げる。

曲げすぎると、スタンドが浮かないようご注意ください。



4 固定用ネジ⑫で固定する。

ご注意

取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

5 スタンドカバー⑬を接着する。



3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。



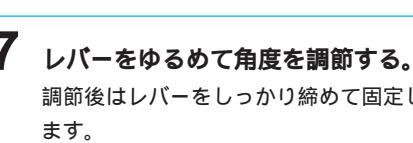
6 ディスプレイホルダー⑯背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。

ご注意

- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヒーターなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからディスプレイ部の取り付けを行ってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

7 レバーをゆるめて角度を調節する。

調節後はレバーをしっかりと締めて固定します。



取り付けと接続が終わったら

コードの処理について

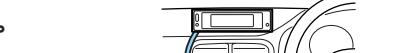
取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。

コードがシフトレバーなどにからまる、非常に危険です。

1 助手席側にコードクランパー⑯で固定する。

ご注意

ドアやシート下のレールにコードがかかるないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。



2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカー、ワイパーなど、すべての電気品が正しく動くことを確かめる。

3 必ず、ディスプレイ部、ディスプレイホルダー部、またはリモコンコマンダー取り付け台のリセットボタンをボルベルンの先などで押す。

針のよななもので強く押すと故障の原因となります。

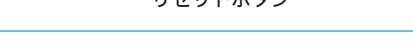


4 ディスプレイ部を取り付ける。

各コードを接続後、支持ネジ⑦、ブッシング⑧、最後に飾りフレーム⑨を取り付けます。

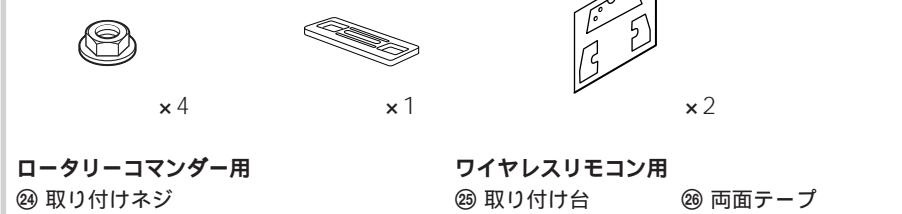
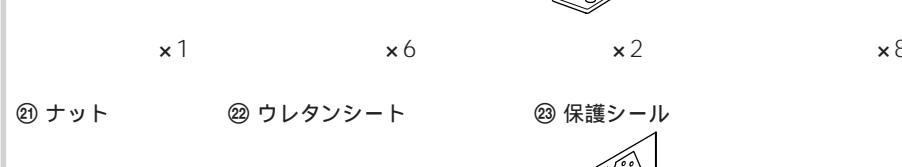
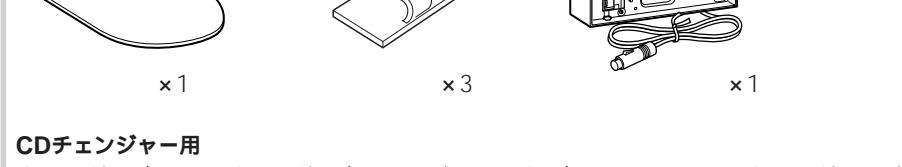
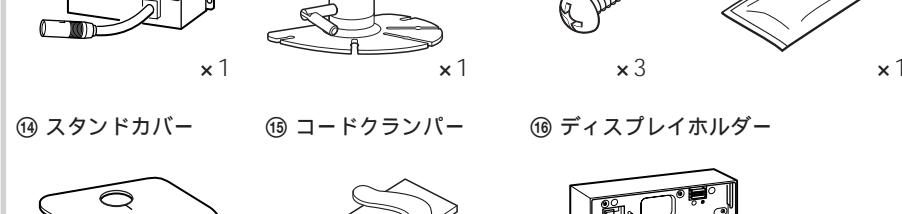
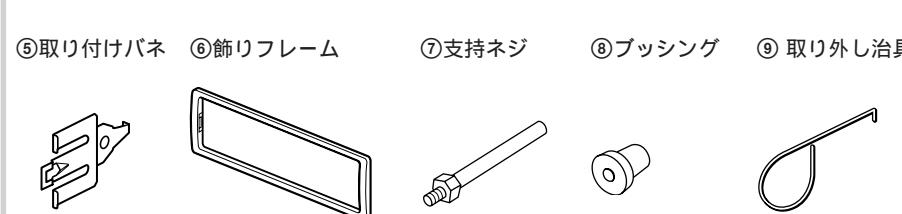
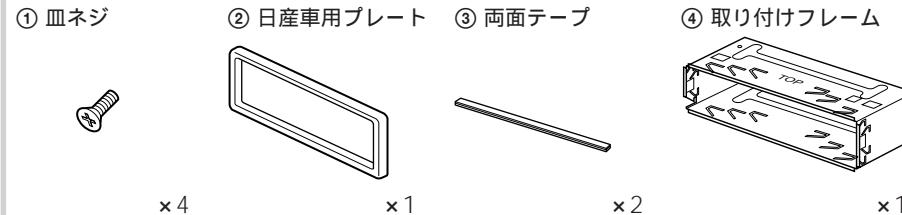
ダッシュボード
防火壁

マイナスドライバー



取り付け／接続部品

コントロールユニット用

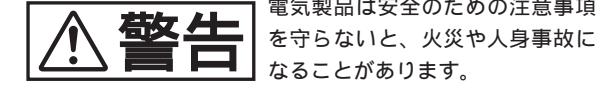


SONY

デジタルリファレンス サウンドシステム

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。



この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この「取り付けと接続」によって、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」によって、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XES-Z50

Sony Corporation ©1996 Printed in Japan

△警告 安全のために

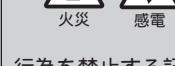
警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容よく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

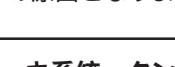


火災

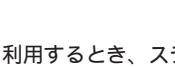


感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

△警告

△注意

下記の注意を守らないと火災・感電により死や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

ロータリーコマンダーの取り付け

(例: ステアリングコラムカバーに取り付ける場合)

取り付け場所の例



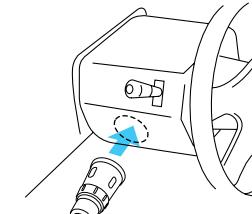
- ご注意**
- 運転の妨げにならない場所(ハンドル操作やレバー操作に影響のない場所)に取り付けてください。
 - 同乗者の安全を損なうおそれのある場所には取り付けないでください。
 - 取り付けるとき、車の記録コードなどを傷つけないよう十分注意してください。
 - 直射日光や、ヒーターの熱風が当たるなど高温になる場所には取り付けないでください。
 - 取り付け場所が平面であることを確認してください。

ロータリーコマンダー本体から取り付け台を外すには

RELEASEボタンを押しながら本体を右に回し、手前に引きます。

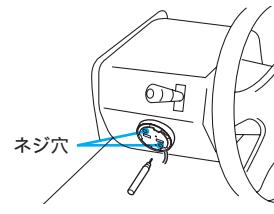
1 取り付け場所を決め、取り付け場所の表面をきれいにする。

ごみや油などが表面に付着していると両面テープの接着力が低下します。



2 取り付け場所にネジ穴用の印を付ける。

印を付けるには、ロータリーコマンダーの取り付け台にあるネジ用の穴を使います。



接続図(3Way Systemの場合)

ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(下図の赤色コードと黄色コード)の接続は、取り付け作業の最後に行なうか、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行なうようにしてください。ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

アンテナブースターの接続

ウィンドーハンタがついている車種によっては、アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色の電源コードをアンテナブースターにつなぐか、アクセサリー電源から電源を取るようにしてください。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

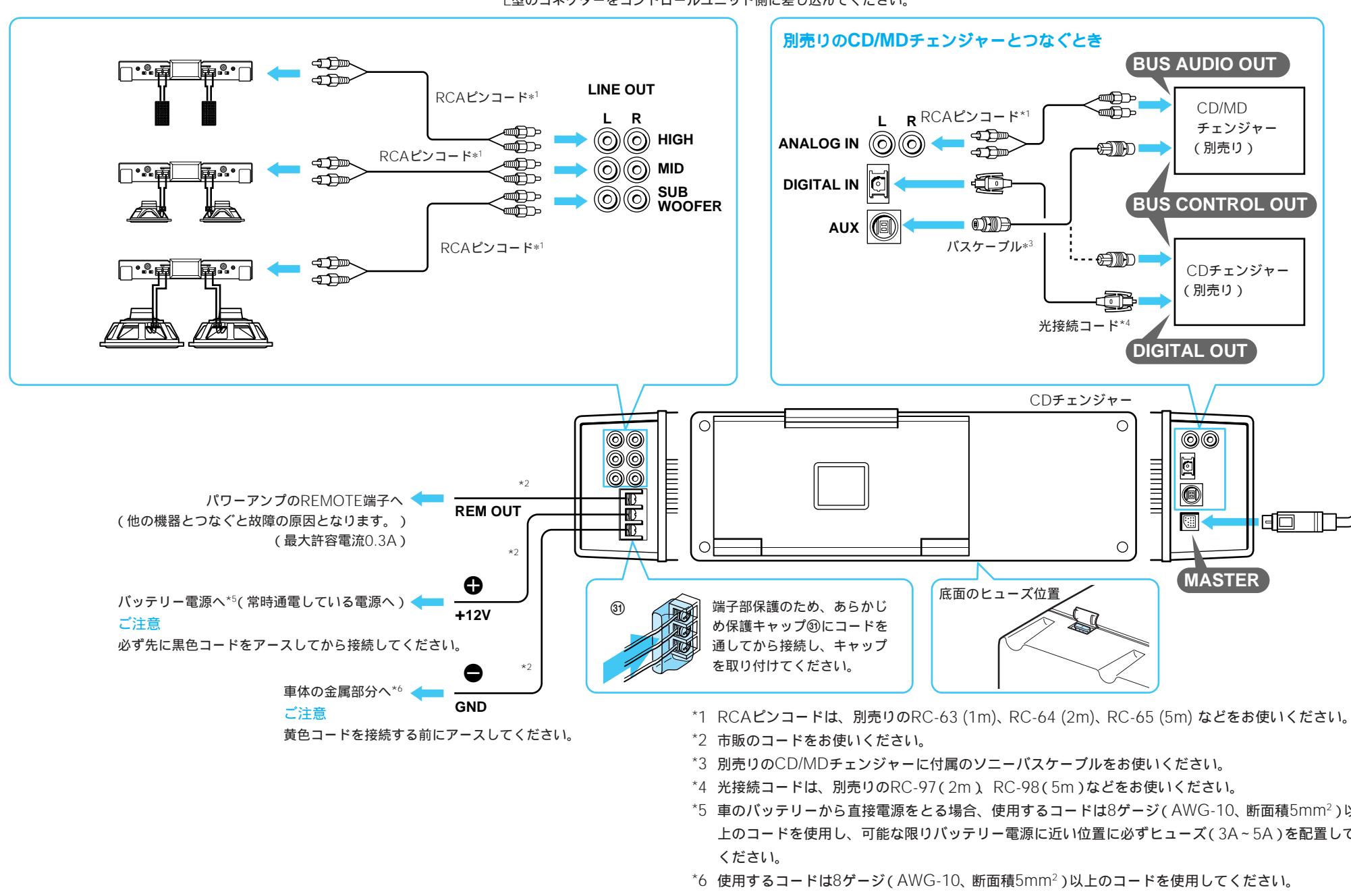
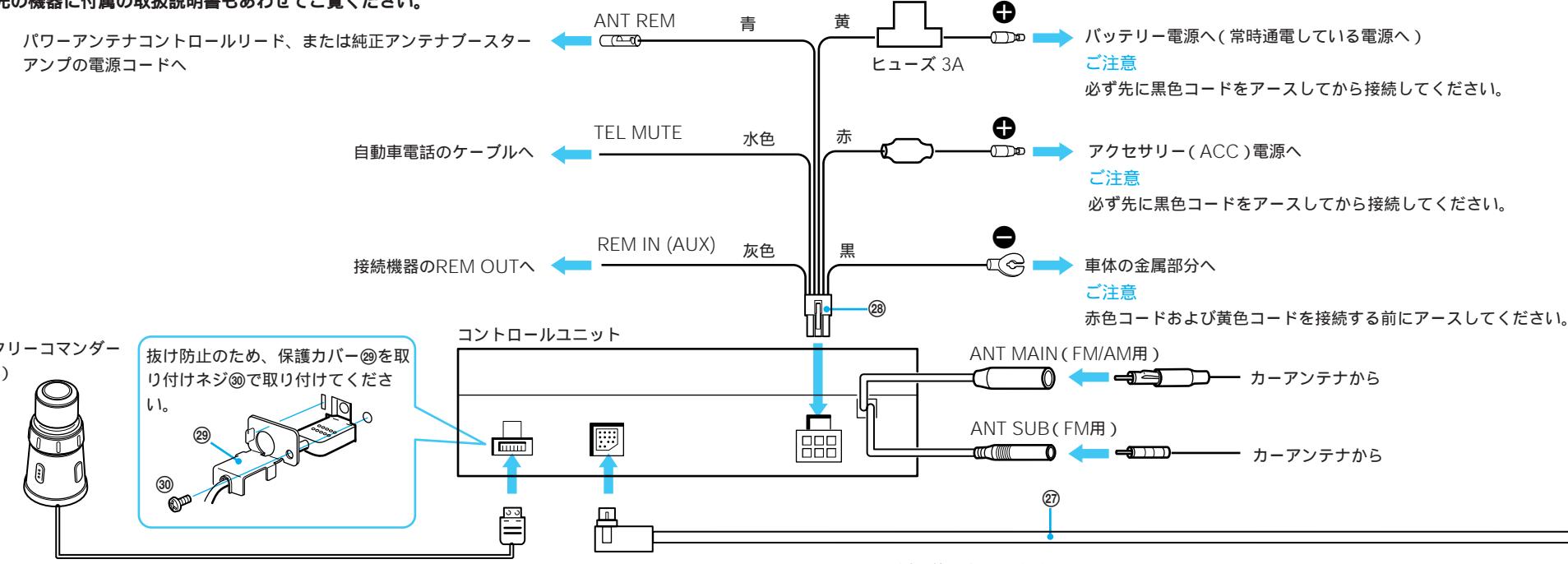
コントロールユニット裏面から出ている青色の電源コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ACC ONにしたときにパワーアンテナが自動的に出ます。

ヒューズ

CDチェンジャー底面および電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アヘン数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや鉛金で代用することは大変危険です。

電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用パックアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを使用したシステムで使用する場合は、総ヒューズ量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合は、バッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じたとき、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



CDチェンジャーの取付け

取り付け位置のポイント

- ドアの開閉やディスクマガジンの出し入れができる場所を確認してください。
- 取り付け場所が平面であることを確認してください。

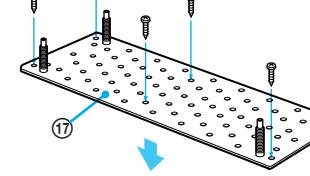
ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けください。
- 温度が55℃以上になるところ
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受けける場所など、温度が極端に高いところ
 - 雨が吹き込むところなど、水がかかるところや湿気の多いところ
 - ほこりの多いところ
 - しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
 - 配線コードやパイプが下を通っているところ
 - トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ

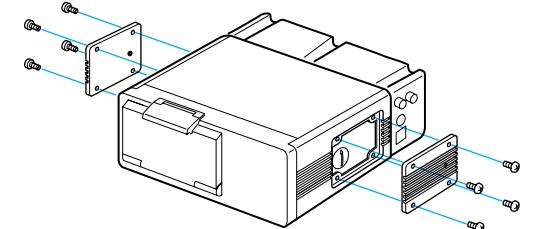
横置きの場合

1 取り付けボード⑦を車体に固定する。

取り付け強度確保のため、下記のように取り付けネジ⑧をボードの6点で締めてください。



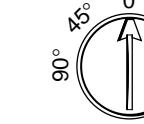
2 両サイドのカバーの取り付けネジ(8本)を外す。



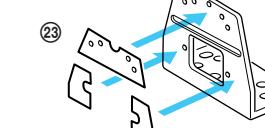
- ご注意**
取り外したネジ(8本)は紛失しないように保管してください。

3 コインなどでダイヤルを「0°」の位置に合わせる。

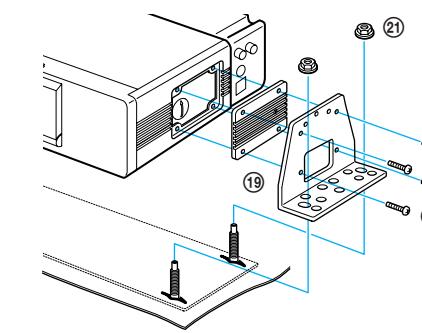
工場出荷時は、「0°」です。



4 保護シールを貼り付ける。



5 取り付けネジ⑨を使ってブラケット⑩を取り付け、ナット⑪で固定する。

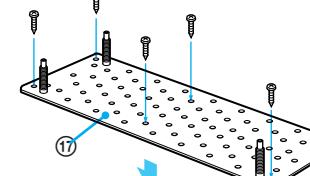


- ご注意**
ブラケット⑩を取り付ける前に、必ず電源コードなどの接続をしておいてください。

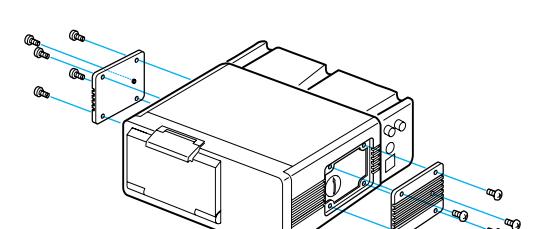
縦置きの場合

1 取り付けボード⑦を車体に固定する。

取り付け強度確保のため、下記のように取り付けネジ⑧をボードの6点で締めてください。



2 両サイドのカバーの取り付けネジ(10本)を外す。



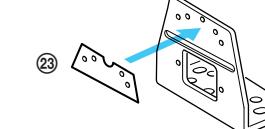
- ご注意**
取り外したネジ(10本)は紛失しないように保管してください。

3 コインなどでダイヤルを「90°」の位置に合わせる。

工場出荷時は、「0°」です。

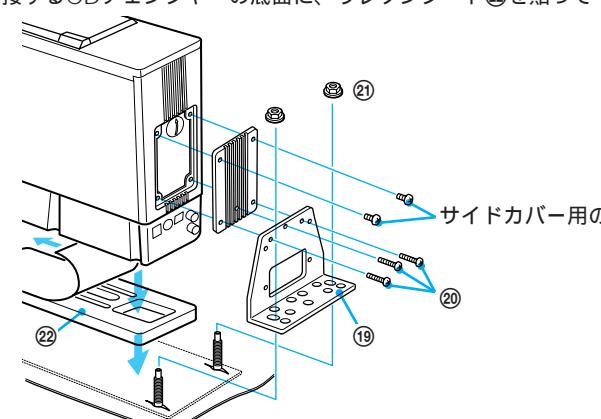


4 保護シールを貼り付ける。



5 ステップ2で取り外したサイドカバー用のネジ(両サイド各2本)と、取り付けネジ

- ⑨(両サイド各3本)を使ってブラケット⑩を取り付け、ナット⑪で固定する。
取り付けボードと接するCDチェンジャーの底面に、ウレタンシート⑫を貼ってください。



- ご注意**
ブラケット⑩を取り付ける前に、必ず電源コードなどの接続をしておいてください。

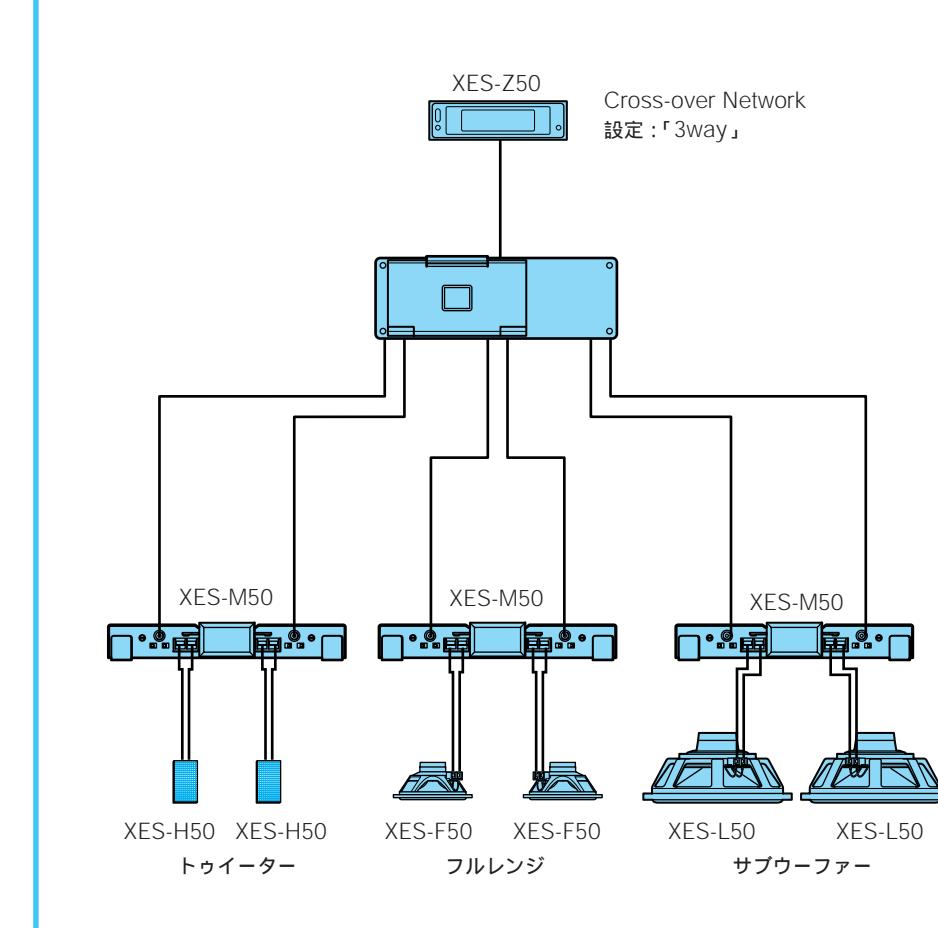
傾斜のあるところに取付ける場合は

CDチェンジャーを取り付けたとき、ダイヤルの矢印を地面に対して垂直方向に近い目盛りに合わせてください。

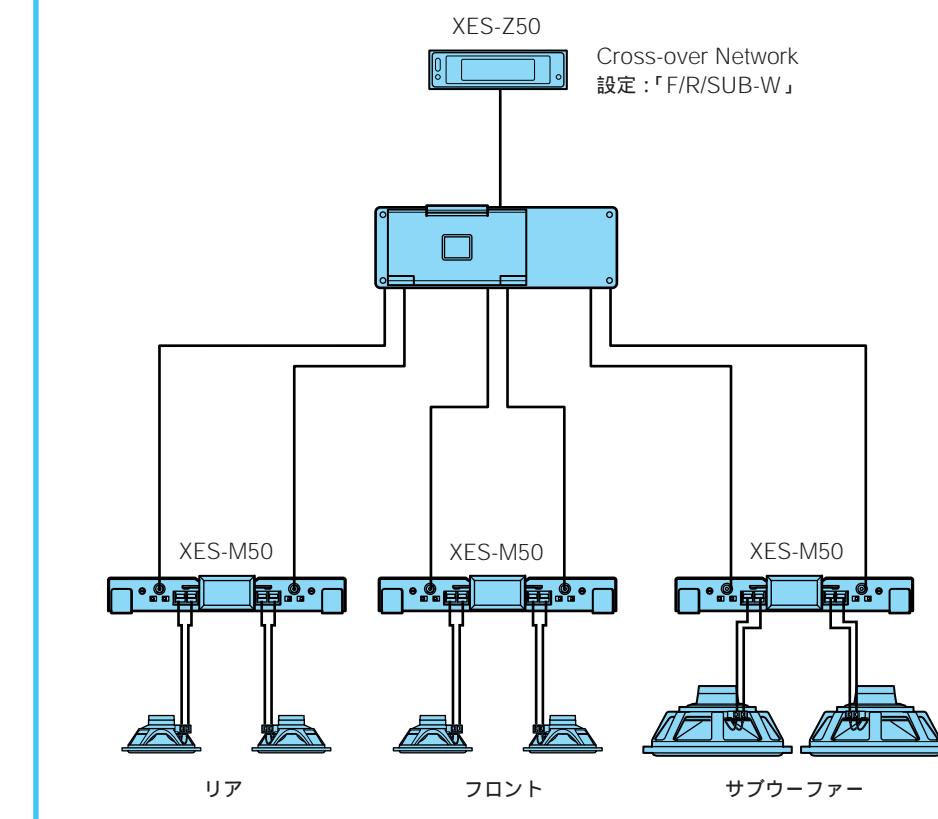
- ご注意**
左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

システム接続例

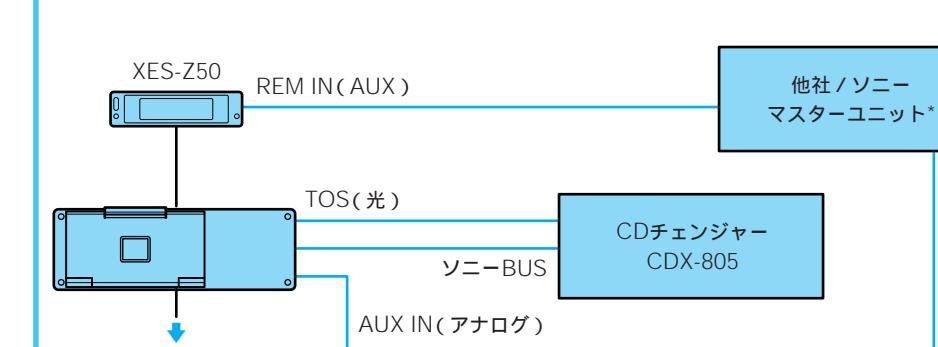
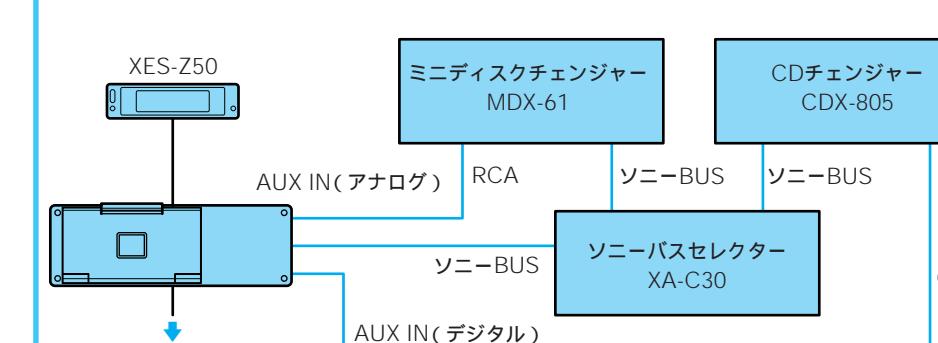
3Wayシステム



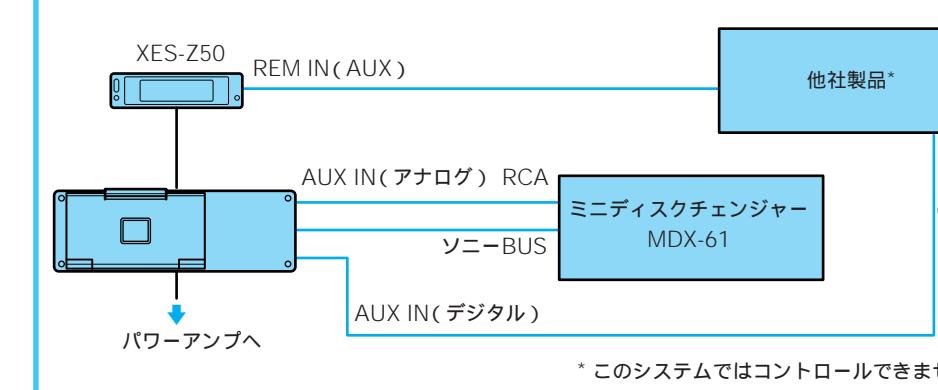
F/R/SUB-Wシステム



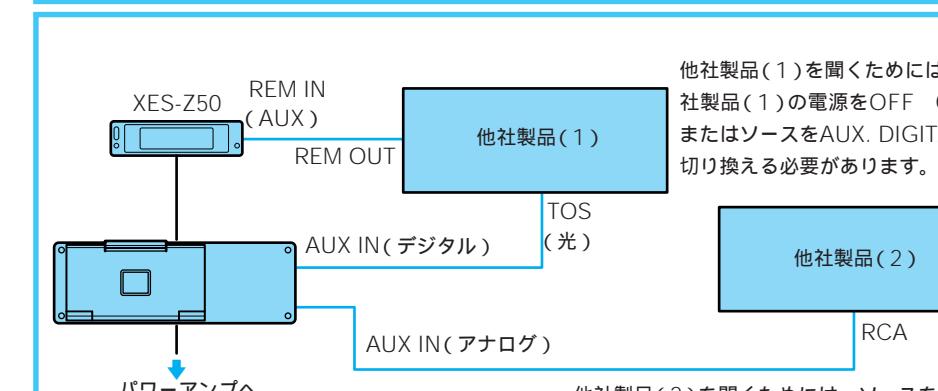
その他のシステム例



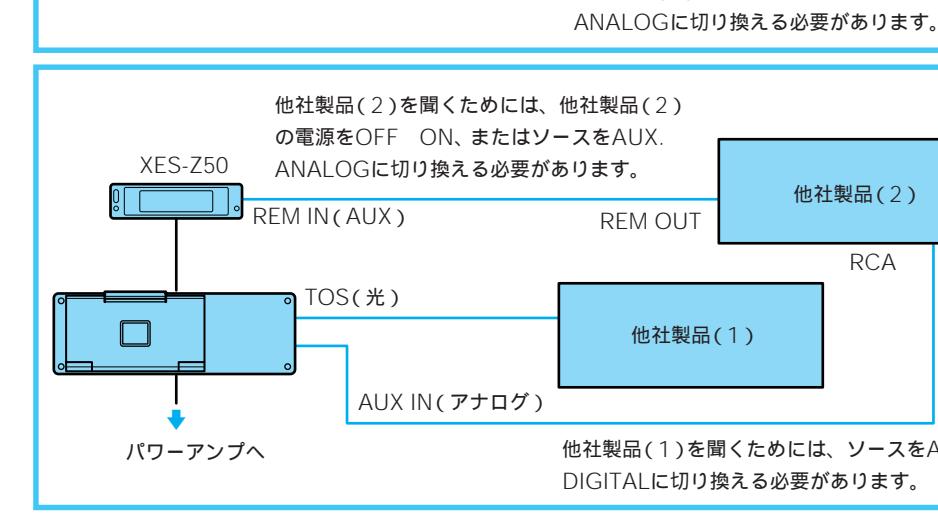
* このシステムではコントロールできません。



* このシステムではコントロールできません。



他社製品(1)を聞くためには、他社製品(1)の電源をOFF, ON, またはソースをAUX, DIGITALに切り換える必要があります。



他社製品(2)を聞くためには、他社製品(2)の電源をOFF, ON, またはソースをAUX, ANALOGに切り換える必要があります。

他社製品(1)を聞くためには、ソースをAUX, DIGITALに切り換える必要があります。